

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

にっこば
まちづくり協議会

健康福祉部の活動について



にっこばまちづくり協議会では、「安心、安全な地域づくり」を目的としてさまざまな部会を設けています。その中で、西小・林校区社会福祉協議会を健康福祉部とし、当協議会の部会として共に活動しています。

健康福祉部の活動は、地域福祉の先進地への視察研修や福祉協力員との座談会、西小・林中学校三年生との認知症サポーター研修、敬老会や交流事業の開催、一人暮らしの高齢者宅への友愛訪問、清掃活動など多岐にわたっており、「安心、安全な地域づくり」に寄与しています。

当協議会では、事務の支援に加え、各取り組みを支援し、地域全体で地域福祉をサポートできる体制づくりを進めます。

すきむらづくり
協議会

10年ぶりの開催、「須木元気ふるさと大運動会」



9月13日、須木地区で待望の「第3回須木元気ふるさと大運動会」が開催されました。

久しぶりの運動会に、子どもからお年寄りまで幅広い世代の地域住民が集まり、会場には朝からたくさんの笑顔と活気あふれる歓声が響き渡りました。

左近太郎などの定番種目では、地区ごとのチームに分かれて白熱した戦いが繰り広げられ、応援席からは大きな拍手や声援が送られました。

大運動会の締めは「新須木音頭」。参加者全員で輪になって踊り、会場は盛り上がりしました。

10年ぶりの開催ということもあり、世代を超えた交流の輪が大きく広がる素晴らしい1日となりました。

輝けフロンティア
のじり

地域伝統の六月灯まつりを開催、熊本地震へ義援金を寄付



田植えが一段落し、五穀豊穡を祈願する「東麓六月灯まつり」を7月25日に野尻小体育館をメイン会場として開催しました。

小学生が描いた灯籠に明かりが灯り、こすもろが登場すると祭りも最高潮に盛り上がりました。地域の若い世代が運営に携わり、東麓地区以外にも多数のお客さんが訪れ、野尻町全体で受け継がれてきた祭りとして地域の繋がりを感ずるひとときになりました。

また、輝けフロンティアのじりでは六月灯まつりの収益金の一部（2万7千円）と自主財源から10万円を、熊本地震の義援金として寄付しました。

※義援金は日本赤十字社へお渡ししております